



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究－2006年度(平成18年度)版－

IV. 総合・新領域系および大型研究費編

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity Based on the Number of Awards of Grants-in-Aid for Scientific Research — 2006 Fiscal Year —

IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Yoshitaka MITSUDA, Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA, and
Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2009-005J

Mar. 2009

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2006年度(平成18年度)版－
IV. 総合・新領域系および大型研究費編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋 至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－ 2006 Fiscal Year –

IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the fourth report for 2006 fiscal year's version, on the research field of interdisciplinary and new area & large-scaled project funds. The large-scaled project funds involve the big project of Scientific Research on Priority Area, and the huge grants for Specially Promoted Area and for Creative Scientific Research. The total number of adoption subjects of research projects at 2006 has been summed up for each university and institute both on individual research field of interdisciplinary and new area and on individual funds of large-scaled project funds, and compared to those of 2005 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2006年度（平成18年度）の包括的な状況	4
4. 調査研究の具体的な分析方針	8

II. 個別課題研究費編：総合・新領域系

1. 概要	9
2. 分野別	12
2-1 総合領域	12
2-2 複合新領域	18

III. 大型研究費編

1. 概要	23
2. 大型研究費の特徴	24
3. 研究種目別	25
3-1 特定領域研究	25
3-2 特別推進研究	27
3-3 学術創成研究費	28

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939年（昭和14年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ紆余曲折を経ながら、わが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、科学技術基本法が作られ、その一環として、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、図1-1に示すように、毎年予算増が図られてきた。2007年度（平成19年度）には、1,913億円と1992年度（平成4年度）のほぼ3倍にまで増加し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

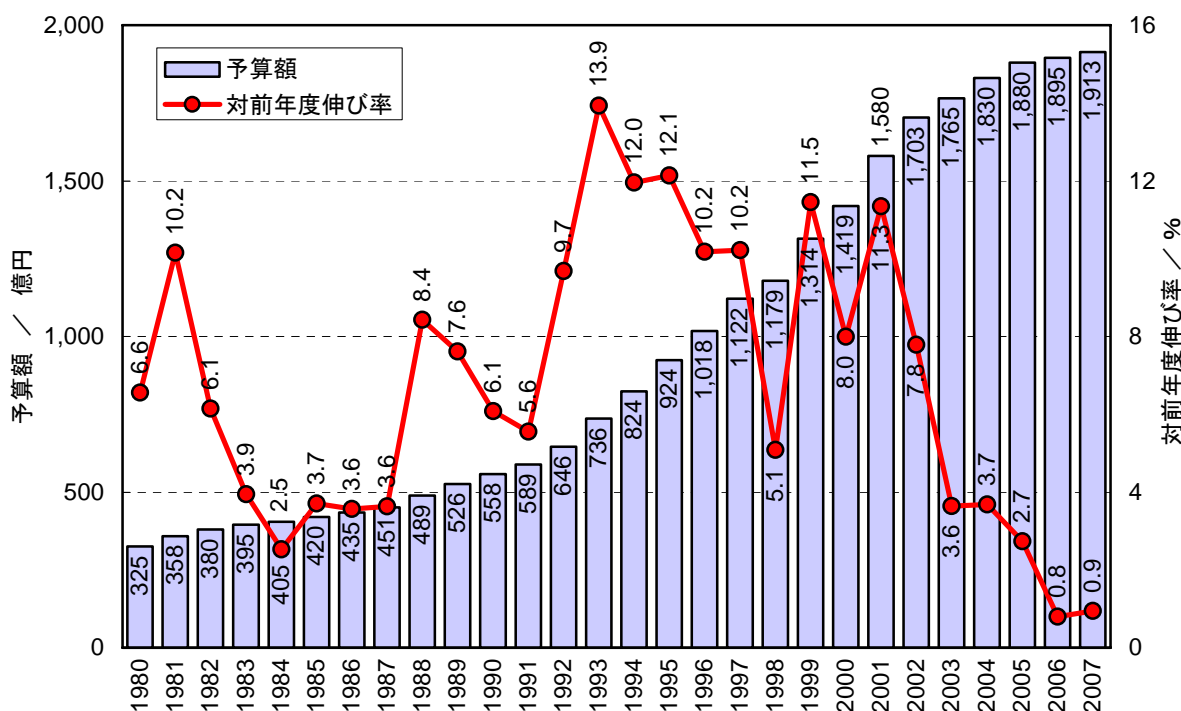


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

さらに、評価における観点として、科学研究費補助金の採択研究課題数等を個人および機関評価の資料として用いるときのデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味からも科学研究費補助金の採択研究課題名および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・

公募審査要覧」(ぎょうせい発行)に公表されており、現在では国立情報学研究所の web サイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもが見ることができる。

科学研究費補助金のような公開データから採択研究課題数を大学別に整理することによりランキングを作成する場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS (Research Active Staff) の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、研究者への研究費について機関配分よりも競争的な個人配分の割合が大きくなるのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが、科学研究費補助金の「系・分野(部)・分科・細目表」(以下「細目表」という)である。この「細目表」は基盤研究等の研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部学科等の大学の組織の人数等を短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく、実施しようとする研究計画の内容を考え、適切な「細目」を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については 1993 年度(平成 5 年度)に抜本的改正が行われ、以後 5 年ごとに見直されることが平成 5 年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会(当時)に「分科細目改正検討委員会」が設置されたが、1998 年度(平成 10 年度)は小規模な改正に留められ、2003 年度(平成 15 年度)に大幅な改正が行われることとなった。

以上のことから、我々は、2003 年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998 年度(平成 10 年度)～2002 年度(平成 14 年度)の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」(NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004))として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 —」として出版した。

一方、2003 年度(平成 15 年度)の改正は、学術審議会答申「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」(1999 年(平成 11 年)6 月 29 日)に基づき、2000 年度(平成 12 年度)に学術審議会科学研究費分科会審査第一部会に「分科細目改正検討委員会」が設置され、「細目表」についての検討が続けられた。日本学術会議および 17 の関連学会等の修正・追加意見等を参考に、最終的に新たな「細目表」が決定された。この新しい「細目表」を用いて申請された 2003～2005 年度の科学研究費補助金採択研究課題数も分析し、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」として、web 上に公表した。また、2003～2005 年度の内容はトランスアートから「全国大学の研究活性度」として年度ごとに出版した。

本調査報告は、同様の調査研究の 2006 年度(平成 18 年度)版である。このような調査研究には連

続性が必要であるので、2005年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2005年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数等を機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いている。また、予算額等の「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いた。なお、「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え、年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しない場合があることに注意されたい。

3. 2006年度（平成18年度）の包括的な状況

2006年度の総予算額は、図1-1に示したように、15億円、0.8%増えて1,895億円である。緊縮財政状況の中でも伸びているといえるが、伸び率がますます縮小してきていることがわかる。2004年度から2006年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。

2004、2005年度と比べて、特別研究員奨励費を除く個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）が59.2%に微増し、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）が34.5%に微減し、年々大型研究費から個別課題研究費に若干予算が移動していることがわかる。しかし、項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

表1-1 科学研究費補助金の項目別予算額

		金額単位/百万円		
項 目		2004年度	2005年度	2006年度
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	13,400	13,600	13,700
	(2) 特定領域研究	40,291	40,291	40,291
	(3) 基盤研究(S)	9,310	10,600	10,600
	(4) 基盤研究(A)	20,640	20,640	20,640
	(5) 基盤研究(B)	34,110	34,110	34,110
	(6) 基盤研究(C)	19,870	19,870	19,870
	(7) 萌芽研究	5,250	5,250	5,250
	(8) 若手研究(A)	5,440	5,900	6,150
	(9) 若手研究(B)	13,110	14,600	14,600
	(10) 若手研究(スタートアップ)	0	0	1,000
	(11) 奨励研究	600	600	600
	(12) 特別研究促進費	250	250	400
		小 計	162,271	165,711
2 研究成果公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	884	884
	(2) 学術図書	685	685	685
	(3) データベース	1,416	1,416	1,416
	(4) 研究成果公開発表	397	397	397
		小 計	3,382	3,382
3 特定奨励費		770	770	770
4 特別研究員奨励費		5,710	6,170	6,070
5 学術創成研究費		9,950	11,050	11,050
6 審査・評価・分析経費		917	917	1,017
合 計		183,000	188,000	189,500

まず、個別課題研究費について、2006年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみる。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表1-2に示す。特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の2006年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を2005年度と比較すると、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数が4.3%増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で7.1%、人文社会系で8.5%増えているのに対して、理工系で1.1%、生物系で3.5%しか伸びておらず、その伸び方には差があることがわかる。

次に、2006年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみる。2006年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数上位50位を表1-3に示す。1位の東京大学をはじめとして、上位

を旧帝国大学が占め、筑波大学、広島大学等の旧文理大学が続くことがわかる。また、医学部を持つ大学が上位に現れやすい傾向がみてとれる。このように、採択研究課題全体では各機関の研究分野の特徴が表れにくく、大規模の国立大学が上位にあるように見える。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2006 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
		件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	配分額	件数	
基盤研究 (S)	件数	33	38	13	9	38	25	77	28	20	55	—	336
	配分額	572	693	188	141	614	452	1,206	451	308	964	—	5,588
基盤研究 (A)	件数	188	195	135	159	192	82	320	86	125	213	—	1,695
	配分額	1,869	2,021	1,010	1,276	1,842	846	3,503	861	1,214	2,457	—	16,899
基盤研究 (B)	件数	905	538	565	755	614	329	1,312	310	693	1,719	—	7,740
	配分額	3,811	2,423	1,876	2,614	2,497	1,702	6,296	1,522	3,127	8,639	—	34,507
基盤研究 (C)	件数	1,788	589	1,626	1,886	1,277	436	1,827	484	751	5,293	291	16,248
	配分額	2,280	784	1,557	1,930	1,442	655	2,519	729	1,049	7,600	399	20,943
萌芽研究	件数	558	259	181	270	240	189	555	164	300	1,298	—	4,014
	配分額	719	366	180	276	290	290	815	246	432	1,896	—	5,508
若手研究 (A)	件数	120	78	8	19	75	68	189	48	45	133	—	783
	配分額	764	514	26	59	540	480	1,372	362	298	922	—	5,337
若手研究 (B)	件数	1,537	506	633	1,313	881	439	1,535	482	589	3,652	—	11,567
	配分額	2,004	693	593	1,270	1,047	671	2,091	751	830	5,221	—	15,170
若手研究(スタートアップ)	件数	94	42	58	111	52	28	92	35	44	247	—	803
	配分額	119	53	66	120	66	37	117	46	60	315	—	1,000
分野別合計	件数	5,223	2,245	3,219	4,522	3,369	1,596	5,907	1,637	2,567	12,610	291	43,186
	配分額	12,137	7,548	5,496	7,686	8,338	5,133	17,919	4,968	7,316	28,013	399	104,953
特別研究員奨励費	件数	5,438											5,438
	配分額	5,353											5,353

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 18 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

表 1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2006 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2006年度	
			件数	金額
1	国	東京大学	2,860	17,765,839
2	国	京都大学	2,310	11,558,570
3	国	東北大学	1,890	8,955,710
4	国	大阪大学	1,794	7,922,190
5	国	九州大学	1,466	5,497,180
6	国	北海道大学	1,456	5,447,350
7	国	名古屋大学	1,256	6,110,026
8	国	筑波大学	944	2,894,190
9	国	広島大学	837	2,317,170
10	国	東京工業大学	790	4,153,960
11	国	神戸大学	762	2,394,089
12	国	岡山大学	644	1,717,090
13	私	慶應義塾大学	622	2,005,480
14	国	千葉大学	593	1,558,300
15	私	早稲田大学	576	1,677,750
16	他	理化学研究所	553	2,362,880
17	国	金沢大学	501	1,291,310
18	国	新潟大学	458	1,079,810
19	国	熊本大学	408	1,262,970
20	国	東京医科歯科大学	407	1,650,710
21	国	徳島大学	402	1,099,800
22	国	長崎大学	390	943,780
23	私	日本大学	347	650,710
24	国	山口大学	340	707,640
25	公	大阪市立大学	335	890,230
26	国	群馬大学	333	776,020
27	国	信州大学	316	638,740
28	国	鹿児島大学	305	610,530
29	公	大阪府立大学	296	708,670
30	公	首都大学東京	288	752,860
31	他	産業技術総合研究所	272	908,750
32	国	愛媛大学	270	704,040
33	国	岐阜大学	267	587,940
34	国	静岡大学	266	605,570
35	国	富山大学	258	538,410
36	国	山形大学	247	526,110
37	私	立命館大学	245	632,300
38	国	三重大学	240	582,050
39	国	東京農工大学	228	941,360
40	公	名古屋市立大学	224	539,200
41	国	横浜国立大学	222	688,080
42	国	鳥取大学	217	476,700
43	国	琉球大学	211	382,510
44	私	東海大学	208	448,000
45	国	福井大学	205	402,890
46	国	弘前大学	204	377,930
47	公	横浜市立大学	203	646,860
48	国	奈良先端科学技術大学院大学	189	861,960
49	公	京都府立医科大学	186	475,410
50	私	東京理科大学	185	497,580
50	国	宮崎大学	185	383,500
50	国	佐賀大学	185	305,715
合計			47,484	152,280,754

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2005年度の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2005年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2005年度の途中から2006年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2006年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2006年4月1日現在における大学等の合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないの、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2006年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、調査件数が少ないことから、2006年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれみるときに、あらためて分析対象としたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧「細目表」が主に用いられ、2003年度に追加採用および2004年度以降に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新「細目表」が用いられている。特別研究員が2年もしくは3年任期であることから、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧「細目表」により分類される研究課題と新「細目表」により分類される研究課題が混在している。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数（新・旧「細目表」すべてを含む）による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 「細目表」が混在しているため、旧「細目表」の「部」と新「細目表」の「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学／分野：人文学、社会科学）、理工系（部：理学、工学、農学／分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）、医系（部：医学／分野：医歯薬学）、融合系（部：複合領域／分野：総合領域、複合新領域）の4つに統合する。この4つの「研究領域」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」については、原則として採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件の場合は省略し、2件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

II. 個別課題研究費編：総合・新領域系

1 概要

2006年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経時変化による採択動向をみることにする。総合・新領域系全体での機関別採択研究課題数上位50位を表2-1に示す。表から明らかのように、総合・新領域系全体としては、採択研究課題数の多い「分科」は理工学を主とする研究分野が多いため、機関別順位には理工系と同様の傾向がみえている。前年度と比較すると、全体として採択研究課題数が7.1%増えていることがわかる。人文社会系の伸び率よりは小さいものの、理工系に比べれば総合・新領域系の伸び率ははるかに大きい。東京大学を含め旧帝国大学の優位は変わらない。理化学研究所、産業技術総合研究所などが、前年度と比較して大幅に採択研究課題数を伸ばしている。

この総合・新領域系を「分野」別にわけてみると、採択研究課題数の割合は分野：総合領域で69.9%、分野：複合新領域で30.1%であり、「分野」別の割合は前年度からほとんど変化していない。「分野」別に採択研究課題数を前年度と比較すると、分野：総合領域の伸び率が7.7%、分野：複合新領域の伸び率が5.8%であり、伸び率が鈍ってきているが他の「分野」の伸びより依然大きい。

総合・新領域系の各「分野」の採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2-2に示す。分野：総合領域、複合新領域ともに前年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の「分野」の特徴も表れている。

表2-1 総合・新領域系 採択研究課題数上位50位(2006年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2006年度		2005年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	393	1,878,630	358
2	国	京都大学	278	1,063,700	280
3	国	東北大学	245	760,270	217
4	国	大阪大学	235	909,220	230
5	国	筑波大学	219	543,350	210
6	国	北海道大学	193	634,590	175
7	国	九州大学	158	461,070	142
8	国	東京工業大学	154	555,170	153
9	国	名古屋大学	150	458,100	141
10	私	早稲田大学	121	345,690	104
11	他	理化学研究所	117	306,760	82
12	国	広島大学	114	283,700	107
13	私	慶應義塾大学	97	269,990	88
14	他	産業技術総合研究所	92	305,990	61
15	国	神戸大学	86	247,550	87
16	国	千葉大学	73	195,100	71
17	国	金沢大学	71	167,070	61
18	国	電気通信大学	69	129,900	65
19	国	奈良先端科学技術大学院大学	63	203,700	63
20	公	大阪府立大学	59	139,540	50
20	国	静岡大学	59	131,000	64
22	国	九州工業大学	55	119,100	53
23	公	首都大学東京	53	134,800	56
23	国	鹿児島大学	53	97,700	52
25	私	立命館大学	51	160,000	40
25	国	信州大学	51	108,530	58
27	国	東京医科歯科大学	50	167,360	42
27	国	北陸先端科学技術大学院大学	50	118,440	56
27	国	群馬大学	50	100,400	43
30	国	岡山大学	49	146,740	48
30	国	東京農工大学	49	143,000	41
32	国	富山大学	46	107,700	47
33	国	横浜国立大学	44	134,300	42
33	国	長崎大学	44	78,050	38
35	国	山口大学	42	89,800	38
35	国	熊本大学	42	89,200	41
37	国	岐阜大学	41	95,300	45
38	他	国立情報学研究所	40	128,800	43
38	公	大阪市立大学	40	68,800	39
40	国	徳島大学	39	98,900	46
41	私	東海大学	36	63,000	42
42	国	新潟大学	35	116,300	41
42	国	豊橋技術科学大学	35	84,900	30
42	私	東京理科大学	35	78,350	26
45	国	お茶の水女子大学	33	94,800	32
45	他	国立環境研究所	33	86,600	26
45	国	山形大学	33	56,800	28
48	公	広島市立大学	32	42,900	31
49	国	愛媛大学	31	74,710	37
49	国	宮崎大学	31	74,100	25
		合計	7,468	19,685,029	6,970

表2-2 総合・新領域系「分野」別採択研究課題数上位50位(2006年度)

金額単位/千円

総合領域					複合新領域						
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	243	1,075,040	208	1	国	東京大学	150	803,590	150
2	国	筑波大学	181	449,900	171	2	国	京都大学	136	641,500	139
3	国	大阪大学	156	542,960	154	3	国	東北大学	100	376,360	93
4	国	東北大学	145	383,910	124	4	国	北海道大学	93	339,200	83
5	国	京都大学	142	422,200	141	5	国	大阪大学	79	366,260	76
6	国	九州大学	112	301,320	105	6	国	東京工業大学	57	280,670	60
7	私	早稲田大学	103	294,460	86	7	国	名古屋大学	47	192,400	45
7	国	名古屋大学	103	265,700	96	8	国	九州大学	46	159,750	37
9	国	北海道大学	100	295,390	92	9	国	広島大学	43	144,400	36
10	国	東京工業大学	97	274,500	93	10	国	筑波大学	38	93,450	39
11	他	理化学研究所	83	175,800	56	11	他	理化学研究所	34	130,960	26
12	私	慶應義塾大学	80	183,390	67	12	他	国立環境研究所	32	85,400	24
13	国	広島大学	71	139,300	71	13	他	産業技術総合研究所	30	153,200	27
14	国	神戸大学	62	164,200	62	13	公	大阪府立大学	30	80,300	27
14	他	産業技術総合研究所	62	152,790	34	15	国	千葉大学	28	102,900	27
16	国	奈良先端科学技術大学院大学	54	148,900	57	16	国	東京農工大学	25	89,800	20
16	国	電気通信大学	54	94,200	53	16	国	横浜国立大学	25	66,900	20
18	国	九州工業大学	49	107,500	47	18	国	神戸大学	24	83,350	25
19	国	金沢大学	48	110,370	38	18	他	物質・材料研究機構	24	81,500	16
20	国	千葉大学	45	92,200	44	20	国	金沢大学	23	56,700	23
21	国	信州大学	44	75,730	47	21	国	愛媛大学	20	62,010	22
22	国	北陸先端科学技術大学院大学	43	97,200	47	22	公	首都大学東京	19	70,000	18
22	国	群馬大学	43	91,100	38	22	国	岐阜大学	19	56,000	19
22	国	静岡大学	43	82,400	45	24	私	早稲田大学	18	51,230	18
25	国	東京医科歯科大学	40	124,200	38	24	国	熊本大学	18	30,500	19
26	他	国立情報学研究所	39	127,800	42	26	私	慶應義塾大学	17	86,600	21
27	国	鹿児島大学	38	67,900	35	26	私	東京理科大学	17	35,490	13
28	私	立命館大学	35	96,000	28	26	他	日本原子力研究開発機構	17	29,190	13
28	国	岡山大学	35	84,740	33	29	私	立命館大学	16	64,000	12
30	公	首都大学東京	34	64,800	38	29	国	静岡大学	16	48,600	19
31	国	富山大学	33	76,400	35	29	国	長崎大学	16	33,550	13
32	国	徳島大学	32	86,200	36	32	国	琉球大学	15	51,100	12
32	国	山口大学	32	44,000	32	32	他	海洋研究開発機構	15	48,300	6
34	他	メディア教育開発センター	30	94,900	28	32	国	電気通信大学	15	35,700	12
35	他	生理学研究所	29	98,100	27	32	国	鹿児島大学	15	29,800	17
35	公	大阪府立大学	29	59,240	23	36	国	岡山大学	14	62,000	15
35	公	大阪市立大学	29	45,600	29	37	国	富山大学	13	31,300	12
38	私	東海大学	28	47,700	31	38	私	日本大学	12	32,200	13
38	国	長崎大学	28	44,500	25	38	公	静岡県立大学	12	24,200	10
38	公	広島市立大学	28	36,900	26	38	国	山形大学	12	16,400	11
41	他	東京都医学研究機構	27	81,600	30	41	国	茨城大学	11	57,000	9
42	国	豊橋技術科学大学	26	64,800	21	41	国	東京外国語大学	11	37,100	10
43	国	新潟大学	24	80,200	30	41	国	新潟大学	11	36,100	11
43	国	熊本大学	24	58,700	22	41	公	大阪市立大学	11	23,200	10
43	国	東京農工大学	24	53,200	21	45	国	長岡技術科学大学	10	55,500	6
43	私	東京電機大学	24	39,200	22	45	他	総合地球環境学研究所	10	48,610	10
47	他	統計数理研究所	23	62,200	24	45	国	山口大学	10	45,800	6
47	国	お茶の水女子大学	23	60,500	25	45	国	東京医科歯科大学	10	43,160	4
47	国	宮崎大学	23	45,400	17	45	国	お茶の水女子大学	10	34,300	7
47	国	埼玉大学	23	39,600	18	45	国	鳥取大学	10	30,560	6
47	国	弘前大学	23	38,100	15	45	国	三重大学	10	14,550	11
		合計	5,223	12,137,460	4,848			合計	2,245	7,547,569	2,122

2 分野別

2-1 総合領域

分野：総合領域の中では、分科：実験動物学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学は、採択研究課題数が少なく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみ採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

前年度と比較すると、分野：総合領域全体の採択研究課題数は7.7%増えているが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。分科：実験動物学では16.5%も採択研究課題数が伸びているのに対して、分科：人間医工学では2.8%の伸びに留まっている。

以下、情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-3～2-7に示す。

表2-3 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2006年度)(1)

金額単位/千円

情報学						神経科学					
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	118	495,650	100	1	他	理化学研究所	47	96,410	32
2	国	大阪大学	84	260,960	89	2	国	東京大学	43	187,200	31
3	国	筑波大学	77	198,900	74	3	国	京都大学	27	75,600	23
4	国	京都大学	74	198,400	73	4	他	生理学研究所	26	87,900	23
5	国	東京工業大学	73	200,100	63	5	国	大阪大学	20	114,000	21
6	国	東北大学	71	143,230	53	6	国	東京医科歯科大学	18	58,700	16
7	国	九州大学	56	105,740	57	6	国	群馬大学	18	56,500	17
8	国	名古屋大学	53	104,500	44	6	他	東京都医学研究機構	18	42,900	24
9	国	奈良先端科学技術大学院大学	44	100,700	42	6	私	慶應義塾大学	18	41,900	19
10	国	北海道大学	42	95,200	44	10	国	九州大学	16	60,300	14
10	国	電気通信大学	42	58,200	41	11	国	名古屋大学	14	47,500	10
12	国	九州工業大学	39	89,700	35	12	国	北海道大学	12	33,700	8
13	他	国立情報学研究所	38	126,400	42	13	他	産業技術総合研究所	11	25,700	3
14	他	産業技術総合研究所	36	99,700	19	13	国	筑波大学	11	25,600	10
14	国	北陸先端科学技術大学院大学	36	79,700	40	15	国	神戸大学	9	41,300	8
16	私	早稲田大学	35	115,070	36	15	他	国立精神・神経センター	9	23,400	5
17	私	慶應義塾大学	34	97,790	23	15	国	東北大学	9	16,500	8
18	公	広島市立大学	26	34,000	22	18	国	新潟大学	8	43,400	11
19	私	立命館大学	24	71,000	21	18	国	熊本大学	8	26,300	6
20	他	統計数理研究所	23	62,200	23	18	国	富山大学	8	20,300	7
21	国	静岡大学	20	48,800	22	18	国	金沢大学	8	10,500	14
21	国	広島大学	20	35,400	17	22	私	順天堂大学	6	28,700	8
23	国	豊橋技術科学大学	19	44,000	16	22	公	京都府立医科大学	6	19,600	6
23	公	大阪府立大学	19	23,250	14	22	公	福島県立医科大学	6	13,700	6
25	国	神戸大学	18	31,300	19	22	私	北里大学	6	12,400	4
26	公	公立ほこだて未来大学	17	36,300	9	22	私	東京慈恵会医科大学	6	9,500	5
27	国	名古屋工業大学	16	34,500	14	27	国	千葉大学	5	18,000	1
28	国	和歌山大学	15	38,100	21	27	国	長崎大学	5	10,300	3
28	国	東京農工大学	15	35,000	14	27	私	兵庫医科大学	5	9,480	2
28	国	千葉大学	15	27,400	15	27	国	福井大学	5	7,300	5
28	他	理化学研究所	15	23,300	7	27	国	浜松医科大学	5	7,300	3
合計			1,911	4,357,340	1,753	合計			568	1,646,520	530

表2-4 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2006年度)(2)

金額単位/千円

実験動物学						人間医工学					
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	理化学研究所	11	29,900	8	1	国	東北大学	51	192,080	45
2	他	実験動物中央研究所	6	57,400	5	2	国	東京大学	37	229,000	34
2	国	大阪大学	6	21,100	1	3	国	大阪大学	28	102,800	28
2	国	北海道大学	6	20,400	3	4	国	北海道大学	23	82,390	19
5	国	東京大学	5	14,900	4	5	国	九州大学	21	95,700	18
5	私	東海大学	5	8,400	3	6	国	鹿児島大学	19	37,300	18
7	他	東京都医学研究機構	4	22,600	3	6	私	慶應義塾大学	19	33,600	16
7	国	京都大学	4	22,000	4	8	国	京都大学	18	72,000	20
9	国	筑波大学	3	7,300	5	8	国	東京医科歯科大学	18	52,500	17
9	国	長崎大学	3	4,300	3	10	国	金沢大学	17	42,870	6
11	私	近畿大学	2	9,200	1	11	国	広島大学	13	23,600	11
11	国	名古屋大学	2	7,000	4	12	私	早稲田大学	12	22,200	8
11	私	自治医科大学	2	6,900	0	12	私	北里大学	12	15,500	14
11	国	岡山大学	2	4,640	0	12	私	藤田保健衛生大学	12	14,800	7
11	国	金沢大学	2	3,500	0	15	他	産業技術総合研究所	11	19,190	8
11	私	東京理科大学	2	3,460	0	16	私	川崎医科大学	10	36,400	10
11	国	浜松医科大学	2	3,300	3	17	国	名古屋大学	9	39,200	14
11	私	昭和大学	2	3,100	1	17	私	東京女子医科大学	9	22,300	16
11	国	九州大学	2	2,800	0	17	国	神戸大学	9	13,000	9
11	私	東京医科大学	2	2,700	1	20	国	東京工業大学	8	35,100	7
11	国	信州大学	2	2,000	3	20	国	岡山大学	8	17,400	5
						20	他	理化学研究所	8	15,990	8
						20	私	東京慈恵会医科大学	8	12,500	7
						20	国	山形大学	8	11,900	7
						20	公	首都大学東京	8	9,300	8
						26	国	筑波大学	7	32,000	6
						26	公	大阪府立大学	7	30,390	5
						26	私	福岡大学	7	27,830	6
						26	私	東京電機大学	7	14,100	5
						26	国	千葉大学	7	11,700	9
		合計	99	305,800	85			合計	743	2,085,100	723

表2-6 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2006年度)(4)

金額単位/千円

科学教育・教育工学						科学社会学・科学技術史					
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	メディア教育開発センター	26	87,500	24	1	国	東京大学	6	6,100	5
2	国	広島大学	18	36,400	21	2	国	神戸大学	2	13,000	1
3	国	筑波技術大学	14	31,000	14	2	私	早稲田大学	2	9,900	1
3	私	早稲田大学	14	27,900	13	2	私	立命館大学	2	5,500	2
3	国	静岡大学	14	22,100	13	2	国	京都大学	2	5,000	2
6	他	国立教育政策研究所	12	50,800	11	2	私	東京理科大学	2	2,000	2
7	国	神戸大学	11	39,200	8	2	私	日本大学	2	1,900	2
8	国	東京工業大学	10	30,200	13	2	私	明治大学	2	1,600	2
8	国	信州大学	10	18,400	8						
8	国	徳島大学	10	13,300	8						
11	国	東京学芸大学	8	31,500	9						
11	国	上越教育大学	8	13,300	8						
11	国	北海道教育大学	8	11,600	6						
14	国	名古屋大学	7	14,400	7						
14	国	筑波大学	7	12,300	7						
14	国	鳴門教育大学	7	6,800	7						
17	国	電気通信大学	6	21,300	4						
17	国	東京大学	6	21,000	8						
17	国	金沢大学	6	14,800	4						
17	国	富山大学	6	13,400	6						
17	他	国立科学博物館	6	10,100	6						
17	国	埼玉大学	6	9,700	6						
17	私	金沢工業大学	6	9,000	5						
24	国	北海道大学	5	20,500	5						
24	国	茨城大学	5	16,800	5						
24	国	九州大学	5	10,080	4						
24	国	三重大学	5	8,300	4						
24	国	長崎大学	5	7,100	5						
24	国	京都教育大学	5	6,500	2						
24	国	滋賀大学	5	6,100	4						
24	国	宮崎大学	5	5,900	4						
24	国	愛媛大学	5	4,900	5						
24	国	福井大学	5	4,300	8						
24	他	大学入試センター	5	4,000	4						
		合計	598	1,148,360	558			合計	56	96,800	56

表2-7 総合領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2006年度)(5)

金額単位/千円

文化財科学						地理学					
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	東京文化財研究所	7	26,000	6	1	国	東京大学	7	35,600	6
2	国	富山大学	4	13,600	4	1	公	首都大学東京	7	21,300	9
2	国	東京芸術大学	4	8,600	4	3	国	筑波大学	6	17,600	6
4	他	国立歴史民俗博物館	3	12,300	2	4	国	京都大学	4	17,600	4
4	他	奈良文化財研究所	3	9,600	3	4	国	名古屋大学	4	16,800	4
4	他	元興寺文化財研究所	3	5,900	3	4	私	日本大学	4	4,800	5
7	国	東北大学	2	9,500	3	7	国	金沢大学	3	24,800	3
7	国	北海道大学	2	9,400	0	7	国	東京学芸大学	3	10,500	1
7	私	早稲田大学	2	9,200	2	7	国	千葉大学	3	9,300	4
7	私	奈良大学	2	9,100	1	7	私	立正大学	3	8,400	2
7	私	東北芸術工科大学	2	6,100	2	7	国	広島大学	3	6,500	3
7	国	宮崎大学	2	2,300	2	7	国	奈良女子大学	3	4,900	1
7	国	名古屋大学	2	1,700	2	7	国	九州大学	3	3,100	3
						14	国	岡山大学	2	13,100	2
						14	私	立命館大学	2	8,600	2
						14	国	埼玉大学	2	7,800	1
						14	国	北海道大学	2	5,000	3
						14	国	東北大学	2	4,500	4
						14	私	専修大学	2	2,300	2
						14	国	信州大学	2	2,100	2
						14	私	慶應義塾大学	2	1,600	2
合計			70	208,200	62	合計			107	315,500	104

2-2 複合新領域

分野：複合新領域においても、分野：総合領域と同様に、採択研究課題数が 200 件以下の分科：ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーは、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみ採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

前年度と比較すると、分野：複合新領域全体の採択研究課題数は 5.8% 増えているが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。前年度と比較すると、採択研究課題数の対前年度伸び率をもっとも大きいのは分科：資源保全学であり、14.5% も伸びている。これに対して、分科：環境学では採択研究課題数は 3.2% しか伸びていない。

以下、環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの各「分科」について、上位 30 位までを表にまとめ、表 2-8～2-11 に示す。

表 2-8 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2006 年度) (1)

金額単位/千円

環境学					ナノ・マイクロ科学						
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	北海道大学	46	183,800	35	1	国	東北大学	44	183,190	35
2	国	東京大学	43	229,400	46	2	国	東京大学	37	191,190	33
3	国	京都大学	34	212,400	40	3	国	大阪大学	32	168,620	29
4	国	東北大学	29	103,200	30	4	国	京都大学	24	77,900	22
4	他	国立環境研究所	29	80,100	23	5	他	物質・材料研究機構	22	79,700	13
6	国	名古屋大学	25	74,300	26	6	国	東京工業大学	19	138,170	18
7	国	広島大学	24	102,200	21	7	国	九州大学	15	73,700	10
8	国	横浜国立大学	15	37,200	8	7	国	北海道大学	15	66,600	16
9	国	東京農工大学	14	56,700	8	9	他	産業技術総合研究所	12	72,800	12
10	国	愛媛大学	13	44,710	12	10	他	理化学研究所	9	49,300	6
10	国	金沢大学	13	27,800	15	10	国	名古屋大学	9	40,400	5
12	他	産業技術総合研究所	12	70,100	10	10	私	早稲田大学	9	35,330	6
12	公	大阪府立大学	12	33,300	10	13	国	神戸大学	7	40,400	7
12	国	九州大学	12	30,350	13	14	公	大阪府立大学	6	25,900	6
15	国	茨城大学	10	56,300	9	14	他	分子科学研究所	6	14,100	9
15	国	筑波大学	10	29,550	14	14	国	筑波大学	6	13,300	9
15	他	海洋研究開発機構	10	27,700	3	14	他	日本原子力研究開発機構	6	10,190	3
15	国	東京工業大学	10	26,100	10	18	国	信州大学	5	24,000	4
15	国	千葉大学	10	26,000	11	18	国	静岡大学	5	21,900	4
15	国	大阪大学	10	23,740	15	18	国	電気通信大学	5	17,000	6
21	他	総合地球環境学研究所	9	47,210	9	18	国	東京農工大学	5	11,200	8
21	公	首都大学東京	9	32,200	10	22	私	東京理科大学	4	13,700	3
21	国	東京海洋大学	9	20,300	7	22	国	広島大学	4	10,200	4
21	国	鹿児島大学	9	20,300	10	22	国	横浜国立大学	4	9,100	5
21	他	日本原子力研究開発機構	9	16,900	7	22	国	九州工業大学	4	8,700	4
21	国	熊本大学	9	16,600	12	22	国	北陸先端科学技術大学院大学	4	8,540	6
27	他	国立極地研究所	8	50,900	13	27	他	NTT物性科学基礎研究所	3	25,900	0
27	国	長崎大学	8	18,200	10	27	国	金沢大学	3	12,400	3
27	他	放射線医学総合研究所	8	13,700	8	27	国	香川大学	3	12,100	2
27	公	静岡県立大学	8	12,200	7	27	他	情報通信研究機構	3	11,700	3
						27	国	徳島大学	3	7,600	3
						27	他	豊田中央研究所	3	5,200	3
						27	私	山口東京理科大学	3	5,000	2
						27	国	熊本大学	3	4,800	2
						27	私	慶應義塾大学	3	4,800	6
合計			797	2,598,789	772	合計			424	1,809,590	408

表 2-9 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2006 年度) (2)

金額単位/千円

社会・安全システム科学					ゲノム科学						
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	30	104,600	31	1	国	東京大学	17	85,400	18
2	国	東京大学	22	129,200	21	2	他	理化学研究所	8	23,700	7
3	国	東京工業大学	21	73,300	24	3	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	44,300	6
4	国	筑波大学	12	28,000	11	3	国	大阪大学	7	38,400	6
5	国	大阪大学	10	28,000	8	5	国	東京医科歯科大学	5	23,560	2
5	国	九州大学	10	22,800	7	5	国	京都大学	5	17,900	6
5	国	広島大学	10	13,500	7	7	私	慶應義塾大学	4	43,300	3
8	国	東北大学	9	42,000	9	7	他	国立遺伝学研究所	4	29,900	3
8	国	北海道大学	9	17,900	11	7	国	東京工業大学	4	24,300	4
8	国	電気通信大学	9	16,400	6	7	他	かずみディー・エヌエー研究所	4	10,800	5
11	国	千葉大学	7	24,300	5	7	私	北里大学	4	7,900	5
11	公	首都大学東京	7	17,000	6	12	国	九州大学	3	10,000	0
11	私	東京理科大学	7	6,600	5	12	私	藤田保健衛生大学	3	4,300	2
14	国	神戸大学	6	20,350	4	12	国	鳥取大学	3	3,560	1
14	私	南山大学	6	17,480	5	15	公	首都大学東京	2	18,300	1
14	他	防災科学技術研究所	6	12,600	4	15	国	宮崎大学	2	13,900	2
17	国	長岡技術科学大学	5	35,800	1	15	他	三菱化学生命科学研究所	2	5,900	1
17	国	岡山大学	5	23,300	4	15	私	東海大学	2	5,500	3
17	国	横浜国立大学	5	19,300	6	15	私	東京理科大学	2	4,900	2
17	公	大阪府立大学	5	3,800	4	15	他	産業技術総合研究所	2	4,600	2
21	国	名古屋大学	4	27,200	5	15	国	山口大学	2	4,100	1
21	国	長崎大学	4	8,550	2	15	国	北海道大学	2	3,900	3
21	国	政策研究大学院大学	4	8,500	4	15	国	金沢大学	2	3,700	2
21	私	早稲田大学	4	7,500	5	15	国	熊本大学	2	2,600	2
21	公	兵庫県立大学	4	4,900	3	15	国	岐阜大学	2	2,100	1
26	国	山口大学	3	23,200	3	15	他	農業生物資源研究所	2	1,200	3
26	私	富士常葉大学	3	13,100	2						
26	私	芝浦工業大学	3	11,380	1						
26	国	東京農工大学	3	6,900	1						
26	国	金沢大学	3	6,500	2						
26	他	森林総合研究所	3	6,000	1						
26	他	海洋研究開発機構	3	4,400	2						
26	国	弘前大学	3	3,260	1						
26	私	神奈川大学	3	3,000	2						
26	私	近畿大学	3	2,900	3						
合計			379	1,000,630	342	合計			134	541,920	128

表2-10 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2006年度)(3)

金額単位/千円

生物分子科学					資源保全学						
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	大阪大学	14	88,400	13	1	国	琉球大学	4	9,200	2
1	国	京都大学	14	54,800	15	2	国	東京大学	3	17,200	5
3	国	東京大学	13	86,600	17	2	私	酪農学園大学	3	8,900	2
3	他	理化学研究所	13	45,760	7	2	他	国立環境研究所	3	5,300	1
5	国	東北大学	10	37,600	12	5	国	京都大学	2	14,200	2
5	国	北海道大学	10	31,100	10	5	国	千葉大学	2	12,700	1
7	国	岐阜大学	6	26,300	6	5	国	九州大学	2	11,100	1
8	国	筑波大学	5	9,200	1	5	国	岐阜大学	2	6,400	1
9	国	名古屋大学	4	27,100	4	5	国	北海道大学	2	4,200	1
9	公	大阪市立大学	4	14,300	3	5	国	熊本大学	2	3,300	2
9	国	千葉大学	4	12,800	4	5	私	玉川大学	2	2,000	1
9	公	静岡県立大学	4	12,000	3	5	私	日本大学	2	2,000	2
9	他	サントリー 生物有機化学研究所	4	5,500	2						
14	国	東京工業大学	3	18,800	4						
14	他	高エネルギー加速器研究機構	3	13,600	1						
14	公	大阪府立大学	3	7,700	2						
14	私	慶應義塾大学	3	3,300	4						
18	国	東京農工大学	2	13,000	1						
18	国	東京医科歯科大学	2	4,800	1						
18	私	京都薬科大学	2	4,800	2						
18	国	長崎大学	2	4,600	0						
18	私	武庫川女子大学	2	3,700	2						
18	他	産業技術総合研究所	2	3,600	2						
18	私	星薬科大学	2	3,400	1						
18	私	関西学院大学	2	3,000	3						
18	国	群馬大学	2	2,800	1						
18	私	武蔵野大学	2	2,600	1						
18	私	近畿大学	2	2,170	1						
18	他	日本原子力研究開発機構	2	2,100	3						
18	私	岡山理科大学	2	2,000	1						
18	国	三重大学	2	1,900	2						
合計			175	629,230	168	合計			63	183,100	55

表2-11 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2006年度)(4)

金額単位/千円

地域研究					ジェンダー						
順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数	順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	26	154,400	23	1	国	お茶の水女子大学	6	19,600	4
2	国	東京大学	12	47,000	8	2	国	一橋大学	4	9,200	4
3	国	東京外国語大学	10	36,300	9	3	国	東京大学	3	17,600	2
4	国	北海道大学	9	31,700	7	3	国	名古屋大学	3	9,700	3
5	他	国立民族学博物館	7	22,900	6	3	公	大阪府立大学	3	3,000	2
6	私	立命館大学	6	25,300	2	6	国	大阪外国語大学	2	17,700	1
6	国	神戸大学	6	14,400	6	6	他	国立女性教育会館	2	11,400	1
6	私	上智大学	6	9,600	4	6	私	昭和女子大学	2	4,900	1
6	国	東北大学	6	8,500	5	6	私	立命館大学	2	3,400	3
10	国	広島大学	4	15,800	4	6	国	琉球大学	2	3,000	2
11	国	一橋大学	3	17,600	4	6	国	山形大学	2	2,500	2
11	私	青山学院大学	3	9,540	1	6	私	日本大学	2	2,100	2
11	国	大阪大学	3	8,700	3	6	国	東北大学	2	1,870	2
11	私	大東文化大学	3	8,000	3	6	国	名古屋工業大学	2	1,700	2
11	公	広島市立大学	3	4,100	3	6	国	大阪大学	2	1,700	1
16	国	お茶の水女子大学	2	11,800	1	6	私	城西国際大学	2	1,000	2
16	国	九州大学	2	8,200	3						
16	私	法政大学	2	8,100	1						
16	私	日本女子大学	2	7,100	0						
16	私	慶應義塾大学	2	6,100	3						
16	公	島根県立大学	2	5,800	2						
16	私	同志社大学	2	5,600	3						
16	国	琉球大学	2	4,700	2						
16	国	鹿児島大学	2	4,400	2						
16	国	山形大学	2	4,200	0						
16	国	筑波大学	2	2,800	1						
16	国	長崎大学	2	2,200	1						
合計			171	584,140	152	合計			102	200,170	97

Ⅲ. 大型研究費編

1. 概要

本章では、「細目表」の改訂に本質的な影響を受けない大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）について、解析を行う。I章でも述べたように、このような調査研究には連続性が必要であることを考慮し、大型研究費についても、前年度について行った調査研究と同じスタンスに立ってデータの整理を行う。本章で取り扱う大型研究費は大別すると、大型プロジェクト研究、および、一件あたりの研究費の配分金額が大きな重点的研究がある。

大型プロジェクト研究は、現在、特定領域研究のみとなっている。

特定領域研究：

21世紀の我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取り組みが必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定し機動的かつ効果的に研究の推進を図るもの。期間：3～6年。単年度あたりの配分額の目安：1領域2千万円～6億円程度。

本研究種目は、重点領域研究という名称の研究種目から1998年度に名称が変更されたものである。

一方、個人研究を基本とする配分金額の大きな重点的研究として、次の3研究種目があるが、実質的には、特別推進研究と学術創成研究費の2種類である。

特別推進研究：

国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究。期間：3～5年。申請総額：5億円程度を目安（制限は設けない）。

本研究種目には、2001年度まで新規研究課題が採択されていた中核的研究拠点（COE）形成基礎研究費という研究種目の継続研究課題が吸収されている。

学術創成研究費：

科学研究費補助金等による研究のうち優れた内容をもつ研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図るもの。期間：5年。推薦制。

創成的基礎研究費という研究種目が、2001年度から学術創成研究費へと改称されている。

特別研究促進費：

緊急かつ重要な研究課題の研究助成。

本研究種目は2001年度から発足しているが、前年度には新規研究課題は採択されていなかった。2006年度には、規則改正により「年複数回応募の試行」が行われた。採択研究課題は研究計画の2年次より配分額に応じて基盤研究(A)、(B)、(C)、若手研究(A)、(B)へと振り分けられている。詳細が不明瞭な点が多いので、ここでは分析を割愛する。

2. 大型研究費の特徴

2006年度の大型研究費全体の採択研究課題数、配分額を表3-1に示す。大部分の大型研究費は特定領域研究、特別推進研究、学術創成研究費の3種目に整理され、2006年度には年複数回応募の試行により特別研究促進費の採択研究課題数が増えていることがわかる。

大型研究費の配分額の内訳をみると、特定領域研究が70.5%、特別推進研究が13.4%、学術創成研究費が15.5%である。特別推進研究が年々減少しているが、これはCOE形成基礎研究費の継続研究課題が順次終了していったことに大きく依存している。

表1-1に示した予算額と表3-1に示した配分額とを比べると、金額が大きく異なっていることが目につく。これは、表3-1の配分額が研究者への直接経費であり、表1-1の予算額が直接経費3割相当の間接経費も含めた額であることによるので、注意されたい。間接経費を含めても個々の研究種目の配分額は予算額と差があるが、大型研究費の総額についてはほぼ等しくなっている。大型研究費の枠内では、研究状況や申請状況に応じて、柔軟に予算配分しているものと推測される。

表3-1 大型研究費の研究種目別 採択研究課題数

金額単位/千円

研究種目	2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
特定領域研究	3,506	33,203,400	3,537	33,937,900	3,943	33,469,900	4,018	33,369,700	
特別推進研究	合計	86	9,273,000	80	7,702,500	84	6,445,600	81	6,350,400
	旧来からの特別推進研究	62	4,578,000	67	5,147,500	78	5,505,600	81	6,350,400
	COE形成基礎研究費からの変更	24	4,695,000	13	2,555,000	6	940,000	0	0
学術創成研究費	71	6,078,600	89	6,888,500	107	7,871,000	100	7,318,500	
特別研究促進費	14	68,800	11	73,900	6	36,600	98	280,700	

注：特別研究促進費の2006年度の98件は特別研究促進費(年複数回応募の試行)で、旧来の特別研究促進費継続分が他に1件(8,900千円)ある。

3. 研究種目別

3-1 特定領域研究

特定領域研究は、近年、制度が数度にわたり細かく変更されている。1998年度から、重点領域研究から特定領域研究へと種目名称が変更され、研究期間の間に計画研究以外に公募研究を募集する特定領域研究(A)と計画研究のみの特定領域研究(B)とに分離した。さらに、2000年度には、特定の目的に対応するために特定領域研究(C)が創設されている。特定領域研究(C)は、当初ミレニアムプロジェクトとして癌撲滅を目的とした研究を中心に開始されたが、その後、特定領域の中へ取り込まれた。2002年度から特定領域研究(A)、(B)、(C)の区分がなくなり、特定領域研究と称されるようになった。このような制度変更が数多くなされているが、特定領域研究の新たな領域の発足時期よりも公募研究を募集する公募要領の作成時期が早いために、公募要領のみからは全ての領域を把握することは難しい。

図3-1に、特定領域研究の領域数の年度推移を示す。2002年度以降、年々、領域数は減少している。

特定領域研究の各領域は複数の研究課題に分割されており、それらの研究課題ごとに採択が決定される。採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表3-2に示す。前年度と比較すると、機関別の採択研究課題数の順位はほとんど変化がないことがわかる。

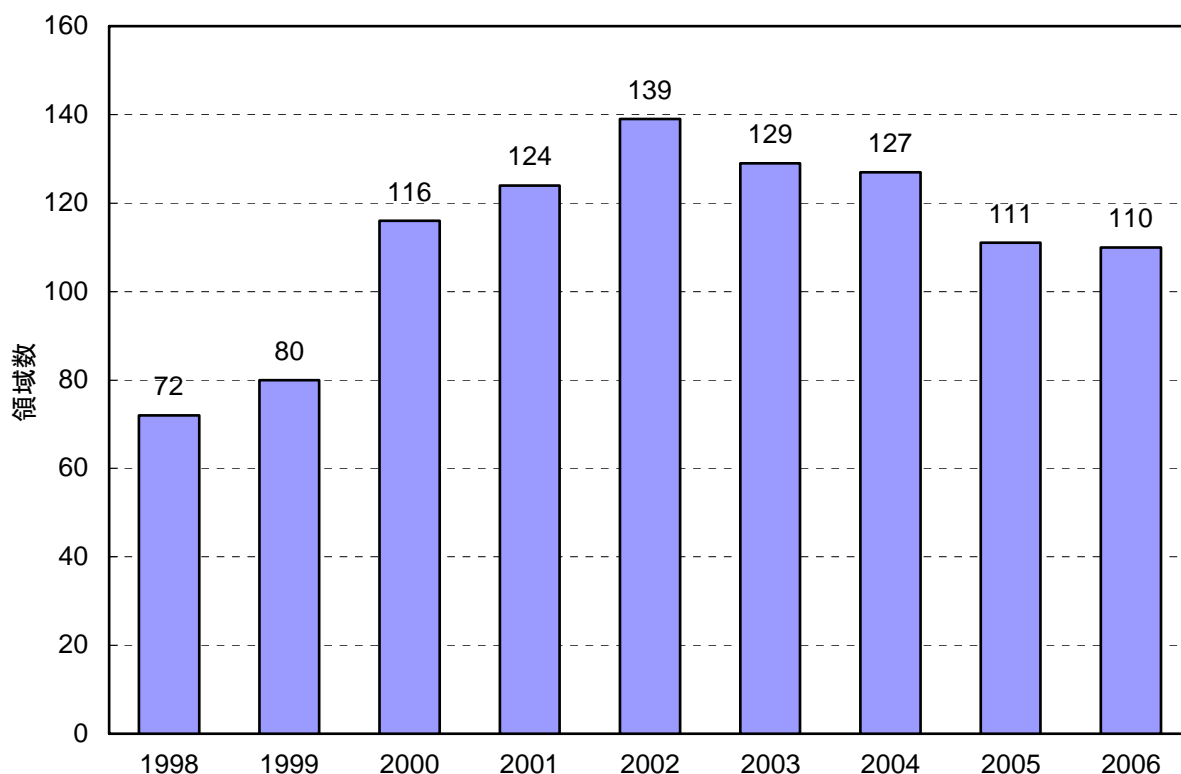


図3-1 特定領域研究の領域数の年度推移

表3-2 特定領域研究 採択研究課題数上位50位(2006年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2006年度		2005 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	457	5,763,500	472
2	国	京都大学	347	3,114,500	326
3	国	大阪大学	293	2,341,100	269
4	国	東北大学	217	1,804,700	197
5	国	名古屋大学	176	1,833,600	153
6	国	九州大学	155	1,158,200	140
7	国	北海道大学	128	882,800	117
8	他	理化学研究所	118	811,800	111
9	国	東京工業大学	110	1,073,500	116
10	国	筑波大学	98	560,500	79
11	国	神戸大学	54	376,000	56
11	国	千葉大学	54	353,500	53
13	国	熊本大学	51	436,400	58
13	国	広島大学	51	338,500	63
13	私	慶應義塾大学	51	305,700	48
16	国	東京医科歯科大学	48	386,000	51
16	国	奈良先端科学技術大学院大学	48	326,000	38
18	他	産業技術総合研究所	43	233,600	33
19	他	国立遺伝学研究所	40	689,000	46
19	国	岡山大学	40	284,700	33
19	国	金沢大学	40	268,800	40
22	他	東京都医学研究機構	31	198,200	35
23	公	大阪市立大学	30	195,500	34
24	他	生理学研究所	29	228,200	33
25	国	群馬大学	28	185,100	29
25	私	早稲田大学	28	183,700	26
27	国	徳島大学	27	203,400	32
28	公	横浜市立大学	26	245,800	23
29	国	新潟大学	25	153,100	27
30	他	分子科学研究所	23	100,500	21
31	国	東京農工大学	22	264,300	15
31	公	大阪府立大学	22	163,300	22
31	国	長崎大学	22	127,300	29
34	公	首都大学東京	21	174,400	36
34	私	東京理科大学	21	88,800	24
36	他	基礎生物学研究所	20	252,800	24
36	公	兵庫県立大学	20	120,500	17
38	国	富山大学	19	77,900	14
39	公	名古屋市立大学	18	132,500	20
39	国	静岡大学	18	56,800	14
41	国	横浜国立大学	17	118,400	20
41	国	愛媛大学	17	110,800	15
41	国	岐阜大学	17	88,500	16
44	他	高エネルギー加速器研究機構	16	143,700	16
44	他	物質・材料研究機構	16	108,300	15
44	国	九州工業大学	16	64,200	17
47	私	立命館大学	15	104,600	7
48	他	国立がんセンター	14	135,500	14
49	私	東京薬科大学	13	81,400	9
49	国	山形大学	13	65,600	17
49	他	三菱化学生命科学研究所	13	56,100	11
49	国	茨城大学	13	51,600	11
		合計	4,018	33,369,700	3,943

3-2 特別推進研究

特別推進研究の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-3に示す。2006年度にはCOE形成基礎研究費の継続分がなくなっている。前年度と比較して、採択研究課題数が少ないため、大きな順位の変動はない。

表3-3 特別推進研究 採択研究課題数（2006年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2006年度		2005年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	13	1,378,100	17
2	国	東北大学	12	1,088,300	9
3	国	京都大学	6	532,800	8
4	国	名古屋大学	5	156,800	6
5	国	北海道大学	4	322,200	2
5	国	九州大学	4	281,800	3
5	国	大阪大学	4	219,500	3
8	私	早稲田大学	3	255,600	3
9	他	日本原子力研究開発機構	2	301,100	1
9	国	筑波大学	2	213,000	2
9	国	神戸大学	2	211,100	1
9	他	理化学研究所	2	156,000	3
9	他	大阪バイオサイエンス研究所	2	133,900	1
9	国	九州工業大学	2	29,600	2
15	国	一橋大学	1	109,100	0
15	他	東京都医学研究機構	1	106,400	2
15	他	国立情報学研究所	1	98,800	0
15	国	広島大学	1	76,600	1
15	他	基礎生物学研究所	1	76,000	1
15	私	慶應義塾大学	1	70,400	1
15	私	中央大学	1	66,000	0
15	他	国立遺伝学研究所	1	53,700	1
15	国	新潟大学	1	51,200	0
15	私	東京理科大学	1	50,000	1
15	他	高エネルギー加速器研究機構	1	48,100	3
15	私	明治学院大学	1	46,000	1
15	他	岡崎共通研究施設	1	46,000	2
15	国	山形大学	1	44,200	0
15	国	金沢大学	1	37,400	1
15	他	国立天文台	1	34,000	1
15	国	東京工業大学	1	28,500	1
15	私	京都薬科大学	1	28,200	1
合計			81	6,350,400	84

3-3 学術創成研究費

学術創成研究費の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-4に示す。前年度と比較すると、特別推進研究とほぼ同じ変化がみてとれる。

表3-4 学術創成研究費 採択研究課題数（2006年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2006年度		2005年度 件数
			件数	金額	
1	国	京都大学	18	1,421,900	15
1	国	東京大学	18	1,171,900	22
3	国	名古屋大学	11	736,400	9
4	国	大阪大学	8	619,800	8
4	国	東北大学	8	569,000	8
6	国	東京工業大学	6	447,900	7
7	他	理化学研究所	4	310,300	4
8	国	東京医科歯科大学	3	262,900	2
8	他	高エネルギー加速器研究機構	3	242,400	4
8	私	慶應義塾大学	3	207,000	5
8	国	北海道大学	3	200,200	4
8	国	九州大学	3	177,000	3
13	国	神戸大学	2	208,000	1
14	私	大阪電気通信大学	1	106,900	1
14	他	国立歴史民俗博物館	1	94,300	1
14	他	宇宙航空研究開発機構	1	80,000	1
14	国	奈良先端科学技術大学院大学	1	79,900	2
14	国	一橋大学	1	71,500	0
14	国	岡山大学	1	71,100	0
14	公	大阪市立大学	1	69,600	1
14	国	愛媛大学	1	65,300	1
14	国	筑波大学	1	56,600	1
14	他	国立遺伝学研究所	1	48,600	1
合計			100	7,318,500	107

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表する。